



富士川地方合同庁舎 基本設計

※現時点での案であり、今後変更する可能性があります

外観パース 交差点から

■計画概要

1. 敷地概要

敷地所在地 : 山梨県南巨摩郡富士川町畷沢 1760-1 外
 敷地面積 : 4,207 m²
 用途地域 : 無指定
 許容積率 : 200%
 許容建ぺい率 : 70%(角地緩和適用の場合 +10%)
 前面道路 : 10.91m
 防火地域 : 指定なし、建築基準法 22 条指定区域外

2. 建物概要

施設名称 : 富士川地方合同庁舎 (仮称)
 入居官署 : (国) 甲府地方検察庁畷沢区検察庁
 甲府地方務局畷沢支局
 東京国税局畷沢税務署
 山梨労働局畷沢公共職業安定所
 山梨労働局畷沢労働基準監督署
 町) 富士川町立図書館及び防災倉庫

建築物

1) 庁舎

構造規模 : RC 造 地上 5 階、延べ面積 : 約 5,205 m²
 (内 図書館面積 約 914 m²)

2) 車庫

構造規模 : 木造 地上 1 階、延べ面積 : 約 128m²

3) 自転車置き場

構造規模 : 木造 地上 1 階、延べ面積 : 約 33m²

3. 重点整備項目

- 1) シビックコア地区の中核施設となる施設整備
- 2) 富士川町の良好な景観形成に寄与する施設整備
- 3) 国の入居官署及び富士川町立図書館の行政サービス向上に資する施設整備

■シビックコア地区への対応

舟運の歴史と大法師公園の桜をモチーフとしたまちづくり

旧街道のスケール感を踏襲

- ・街並みと調和するよう東側に低層のエントランスホールを配置
- ・建物高さを抑制 (建物西側の一部を半地下とする)

桜まつりが開催される大法師公園へのアプローチ空間を創出

- ・大法師線と一体的な歩道状の整備
- ・大法師公園に連続する桜並木を整備

運河とともに暮らしてきた記憶を施設に込める

- ・富士川町の舟運の歴史・文化について造詣を深めるためのデザイン
- ・甲州雨畑硯の色をイメージしたサインデザイン

木材活用の推進

- ・自動車車庫、自転車置き場を木造で整備
- ・エントランスに内装木質化及び木製ルーバー等を採用



町民及び来訪者の交流の場の創出

誰もがぶらりと気軽に立ち寄れるコミュニティの場として整備

- ・東、南側の道路に広場を配置し、歩道と外構を一体的に整備
- ・「山車巡行まつり」の中継所としての利用を想定

近隣の小学校と図書館の連携を図り、人・情報の交流を活性化

- ・利用しやすくなるよう明るく開かれた図書館を整備
- ・税の仕組み、人権についての学習を想定
- ・富士川舟運の歴史の場

休日の賑わいを取りもどす活力ある地域として整備

- ・休日利用にも配慮したエントランスホールを整備
- ・「図書館まつり」の利用を想定

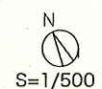
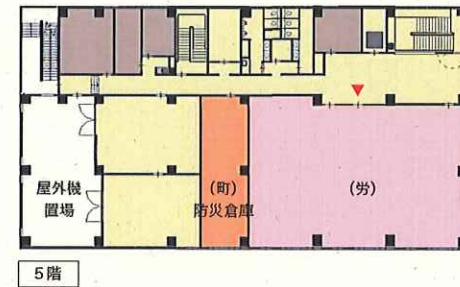
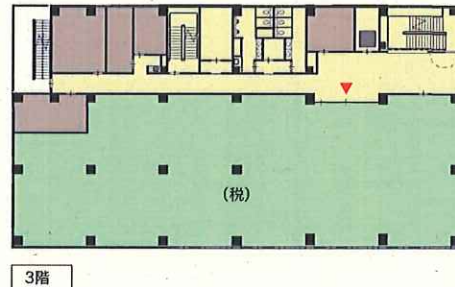
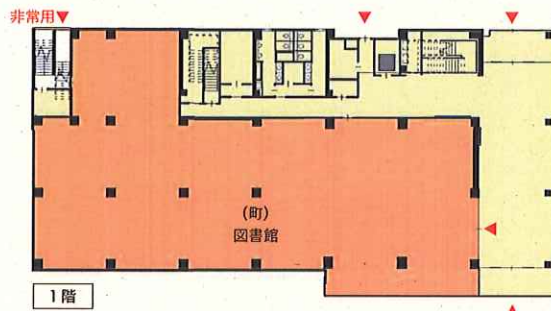
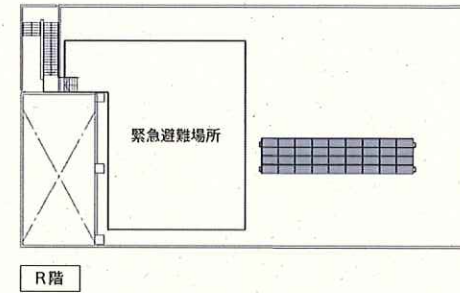
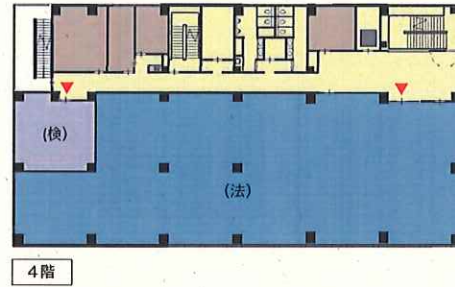
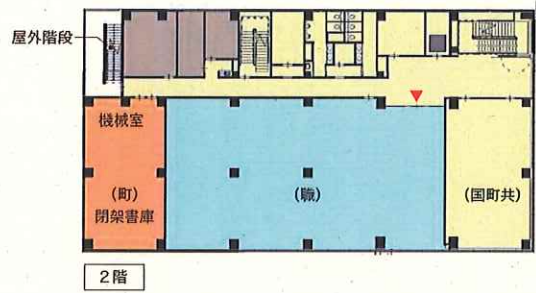
安全で安心して暮らせるまちづくり

地域防災計画との連携

- ・屋上に緊急避難場所を整備
- ・防災倉庫を 5 階に整備

■配置計画

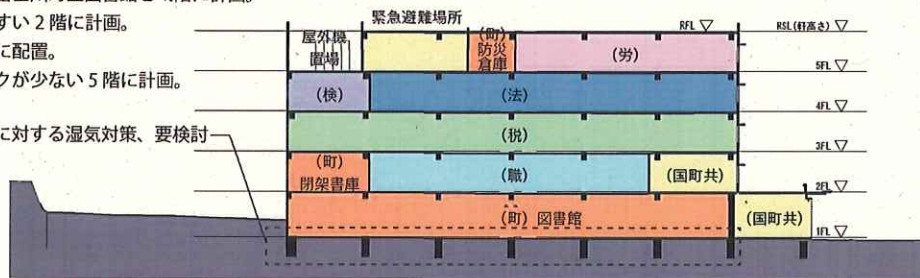
- ・北側に設備室及びWC等のコアを配置し、南側に執務室を配置することにより環境にやさしい計画。
- ・片側コアを採用し、将来のレイアウト変更に容易に対応できるフレキシブルな計画。
- ・執務室の一部を無柱とし、窓口業務等のレイアウトの自由度が高められる計画。
- ・各専用部へは共用部から直接出入りできるなど、財産区分を明確にした計画。



■断面計画

- ・利用者が多く、休日も開館する富士川町立図書館を1階に計画。
- ・共用会議室は来庁者が利用しやすい2階に計画。
- ・来庁者の多い官署を2階から順に配置。
- ・電気室・防災倉庫は水害のリスクが少ない5階に計画。

※図書館下の地下水に対する湿気対策、要検討



断面図

S=1/500

凡例

(町) 富士川町	(劣) 山梨労働局職労働基準監督署
(職) 山梨労働局職労働公共職業安定所	(換) 甲府地方検察庁職労働区検察庁
(税) 東京国税局職労働税務署	(国町共) 国・町共用部
(法) 甲府地方方法務局職労働支局	(国共) 国共用部